

2015 年度 第 1 回 農村計画本委員会 議事録

開催日：2015 年 7 月 11 日(土) 12:00-14:00

場 所：長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」

出席者：委員長：岡田知子 (敬称略)

委員 川嶋雅章、大沼正寛、後藤隆太郎、山崎義人、田口太郎、
清野隆、佐久間康富、菊地義浩、山崎寿一、三笠友洋

I. 確認事項

1. 前回本委員会(2014 年 11 月 13 日)議事録を確認した。
2. 前回主査・幹事会(2015 年 4 月 20 日)議事録を確認した。

II. 報告事項

1. 学術推進委員会関係

(1) 2014 年度小委員会活動成果報告

- ・2014 年度活動成果報告について確認された。また成果報告は学会 HP に掲載済みであることが報告された。

(2) 鹿島学術振興財団研究助成 2015 年度募集と 2014 年度採択結果

- ・2015 年度の応募締切は 10 月 14 日に学会事務局必着。2014 年度は 9 題を推薦した。

(3) 竹中育英会研究助成

- ・67 題の応募があり、10 題が採択された。

(4) 2016 年度開始特別研究委員会公募

- ・10 月 23 日締切。

(5) 2015 年度開始若手奨励特別研究委員会公募

- ・対象は 40 歳以下のグループ、10 月 23 日締切。

(6) 委員会における女性会員の参画機会の拡大についてのお願い

- ・男女共同参画推進委員会による女性会員の委員会等への参画機会のお願いについて報告された。

(7) 東日本大震災第二次提言「建築の原点に立ち返る」に対する取り組み状況調査結果

- ・調査結果について報告された。

(8) 2014 年度出版物販売状況

- ・小委員会での出版企画を推奨する。

(9) 2014 年度講習会・シンポジウム等開催結果

- ・農村計画委員会による研究会等の開催結果を確認した。

(10) オンラインストレージの利用状況

- ・農村計画委員会は 44%の利用（全体 75%）状況であることが報告された。今後さらに利用を促進する。

(11) 2016 年度委員会活動計画案・予算原案および関係書類提出依頼

- ・来年度委員会活動計画関連書類の提出依頼について確認された。

(12) 2013-2014 年度調査研究委員会活動報告会：代議員による委員会活動評価について

- ・日韓交流など海外との交流が評価された等これまでにはない点が報告された。

2. 大会関係

(1) 2016 年度大会開催会場・期間と準備日程

- ・梗概投稿締切が 4 月 5 日、プログラム編成会議が 4 月 21 日に決定された。

(2) 発表題数と OS 投稿数

- ・発表題数について、昨年度と比較し概ね全分野で題数が減っていることが報告された。

(3) 若手優秀発表

- ・若手優秀発表について、各委員会の運用状況について報告され、学術推進委員会として賞に位置づけることを検討することになった。

(4) 2015 年度日本建築学会賞（論文）受賞者記念講演

- ・農村計画委員会から山崎寿一氏の受賞と 9 月 5 日 14:00～の記念講演会について報告された。

(5) AIJ デジタルライブラリーアンケート

- ・研究集会の資料の公開について、大会終了後 1 年経過後に無償公開するとして回答していることが報告された。

(6) 2015 年度大会農村計画部門研究集会

- ・研究協議会、PD について報告された。

3. 本委員会関係

(1) 研究会「むらを住み継ぐカタチ #05 石巻旧十五浜一被災集落流動的居住とその行方」実施計画（委員長承認済み）

- ・10 月 31 日 14:30～石巻市で実施することが報告された。

Ⅲ. 審議・懇談事項

1. 大会関係

(1) 2016 年度大会 OS、研究発表部門細分類・細々分類の検討依頼

- ・大会本委員会で再検討する。

(2) 大会研究集会の分散開催について

- ・調査研究委員会を 3 つの系に分け、系ごとに部屋を割り当て、開催日時は系で調整する案について報告され協議した。
- ・系ごとに開催日時を調整することは良いが、農村計画委員会が入っている計画系に割り当てられている部屋は定員 200 名以上で大きすぎるので、小さい部屋の割り当てを要求する。

2. 推薦依頼

(1) 2016 年日本建築学会大賞候補業績

- ・今後検討する。

(2) 2016 年日本建築学会文化賞候補業績

- ・大南信也氏（グリーンバレー）を推薦する。

(3) 2016 年度日本建築学会教育賞（教育業績）候補

- ・今後検討する。

(4) 卒業論文等顕彰事業委員会委員の推薦依頼

- ・今後検討する。

3. 「東日本大震災合同調査報告書」進捗状況について

- ・建築社会システムはすでに脱稿し、農村計画委員会もほぼ出揃っていることが報告された。

4. 本委員会関係

(1) 研究会「むらに住み継ぐカタチ #03：大分県国東市」実施報告について

- ・参加者は 14 名、収支は 7,485 円の赤字であったことが報告され、赤字にならないよう企画・運営することが確認された。

5. その他

- ・日韓研究会を 2016 年 2 月 27 日か 28 日開催で韓国と調整することになった。
- ・次回本委員会は大会時 9 月 5 日 12 : 30 より開催する。